株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0926
2026 年 11 月 26 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱 UFJ ニコス株式会社（証券コード:ー）

【据置】

長期発行体格付	ＡＡ
格付の見通し	安定的
国内ＣＰ格付	Ｊ－１＋

■格付事由

(1) 三菱 UFJ ニコス（MUN）は、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（MUFG）のクレジットカード会社。会員事業、加盟店事業、受託事業などを展開している。MUFG の関与度および MUFG における経営的重要度を踏まえ、MUN の長期発行体格付は、MUFG のグループ信用力「AA」相当と同等としている。

(2) MUFG による関与度は強い。MUFG が議決権を 100%保有し、取締役は三菱 UFJ 銀行出身者が多くを占める。MUFG が経営の意思決定に深く関与し、経営管理も一体的に行われている。MUFG における経営的重要度は高い。MUFG が国内リテールビジネスを成長戦略の 1 つと位置付ける中、MUN は決済事業の中核を担い、戦略的・機能的に重要な位置付けにある。

(3) 市場地位・競争力は高い。MUFG の個人・法人顧客基盤を強みに国内トップクラスの会員基盤と加盟店網を有する。近年は、積極的なポイント還元による利得性の訴求や、銀行口座開設時のセット提案などにより、プロパーカードである「三菱 UFJ カード」の申込数が増加している。25 年 12 月、長年の経営課題であった MUFG カードと DC カードのシステム統合が計画どおり完了した。今後は 30 年までに NICOS ブランドの統合を進める計画であり、その進捗に注目していく。

(4) 収益力は低水準にとどまる。基礎的な利益は一定程度を確保しているが、貸倒関連費用や金融費用を吸収する余裕度は低い。今後は DC カードブランドのシステム統合に伴う一過性費用の剥落やカードショッピング取扱高の増加などにより利益水準は高まっていくとみられるものの、NICOS ブランドのシステム統合にかかる費用や金融費用の増加などを踏まえると、収益力の大幅な改善には時間を要すると JCR はみている。

(5) 資産の質は健全である。堅実な与信運営の下、信用リスクを抑えている。営業資産は小口分散の効いたクレジットカード債権が中心である。延滞債権比率や貸倒償却率は低位にあり、営業資産対比の貸倒関連費用は抑制されている。利息返還金は減少が続いており、以前に比べリスクも低下している。

(6) 資本充実度は低位にある。過去にシステム統合計画の見直しによる損失計上で資本が毀損し、その後の利益蓄積は緩やかなものにとどまっている。システム統合関連などの一過性費用により、25/3 期および 26/3 期に赤字を計上したため資本がさらに減少した。JCR 調整後の自己資本比率やリスク対比の資本の余裕度は改善の余地が残る。流動性に特段の懸念はない。メインバンクの三菱 UFJ 銀行を中心に、強固な間接調達基盤を構築している。

（担当）坂井　英和・古賀　一平・市成　祐志

■格付対象

発行体：三菱 UFJ ニコス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	6,000 億円	J-1+

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 11 月 20 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：宮尾　知浩
   主任格付アナリスト：坂井　英和
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「クレジットカード・信販」（2022 年 6 月 21 日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022 年 9 月 1 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　三菱 UFJ ニコス株式会社
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■**留意事項**
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■**NRSRO 登録状況**
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■**本件に関するお問い合わせ先**
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.